



## 前期学校評価アンケートについて

令和4年度 前期学校評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。  
アンケートの結果をお知らせいたします。

- ◇ 実施 令和4年9月1日から15日
- ◇ 対象者 白河総合支援学校生徒、保護者、教職員
- ◇ 方法 各項目の「適合度」を4段階で回答  
「そう思う」「大体そう思う」を「肯定的回答」とし「あまりそう思わない」「そう思わない」を「否定的回答」として百分率で分析
- ◇ 回答率 生徒 99% 保護者 84% 教職員 92% (小数点以下四捨五入)
- ◇ 分析結果

数値については、百分率で表しています。端数の四捨五入や未回答(記入漏れ)の回答があることにより、合計が100%にならないことがあります。どの質問項目も肯定的回答の数値が高く出ている。ここでは、【確かな学力】【豊かな心】【健やかな体】【独自の項目】について、否定的回答が昨年度と比較して少し高めに出たもの等を中心に分析結果を記します。

## 【確かな学力】

この項目では、生徒が自分の目標を理解し、その目標に向かって学習に向かっているか、また、その達成度について評価できているか・評価を感じているかについて尋ねています。

	教職員		保護者		生徒				
	項目内容	肯定的回答	否定的回答	項目内容	肯定的回答	否定的回答			
1	生徒や保護者に短期目標と評価、実習の目標と評価を伝えている	94.4%	5.6%	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	90.6%	9.4%	今、現在の自分の目標がわかっている	83.7%	16.3%
2	生徒は自己目標に向かって学習に取り組んでいる	91.7%	8.3%	子どもは目標に向かって学習に取り組んでいる	90.6%	9.4%	目標に向かって学習に取り組んでいる	79.2%	20.8%
3	生徒は満足感や達成感を持ち、専門科(地域協働)の学習に取り組んでいる	88.9%	11.1%	子どもは専門科(地域協働)の授業に満足感や達成感を感じている	88.2%	11.8%	専門科(地域協働)の授業で「できた」「うれしかった」ことがある	82.3%	17.7%
4	生徒は満足感や達成感を持ち、教科の学習に取り組んでいる	86.1%	13.9%	子どもは教科の授業に満足感や達成感を感じている	78.8%	21.2%	教科の授業で「できた」「うれしかった」ことがある	79.1%	20.9%
5	生徒は満足感や達成感を持ち、職場等実習に取り組んでいる	97.2%	2.8%	子どもは職場等の実習に満足感や達成感を感じている	88.2%	11.8%	職場実習で「できた」「うれしかった」ことがある	75.2%	24.8%
6	生徒に働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきている	91.4%	8.6%	子どもに働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきた	88.2%	11.8%	一所懸命働こうという気持ちや職場で必要な態度が身についている	85.1%	14.9%
7	生徒が一生懸命に取り組める活動を用意している	97.2%	2.8%	子どもには一生懸命になれる活動がある	87.1%	12.9%	自分には一生懸命に取り組んでいる活動がある	82.2%	17.8%
8	個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導や支援を行なっている	91.7%	8.3%	子どもの目標や学習計画に基づく計画的な指導や支援がされている	89.3%	10.7%	先生は「何のために勉強するか」をわかりやすく教えてくれる	83.7%	16.3%
9	生徒の学習の結果や努力・達成度を評価し、授業改善・指導法の改善に活かしている	97.2%	2.8%	子どもの努力や達成度が評価されている	92.9%	7.1%	先生は、学習の成果(できるようになったこと等)を伝えてくれる	87.0%	13.0%

保護者の質問項目である「子どもは教科の授業に満足感や達成感を感じている」、生徒の質問項目である「目標に向かって学習に取り組んでいる」「教科の授業(職場実習)で『できた』『うれしかった』ことがある」のそれぞれの質問項目については、否定的回答が他より高く出ている。「できたこと」「がんばったこと」をより具体的に伝えることは達成感や満足感につながります。また、課題に気づき、次の目標を設定することで、今後の学習活動のモチベーションにつながります。これらは、次の項目の「豊かな心」にもつながっていくことだと考えます。

生徒が自分自身で感じられるような伝え方、また、保護者とも共感できるような発信の仕方を模索しながら取り組んでくことで、さらに確かな学力につなげていけるのではないかと考えます。

## 【豊かな心】

この項目では、自己肯定感、自己有用感にかかわる内容について尋ねています。

	教職員			保護者			生徒		
	項目内容	肯定的回答	否定的回答	項目内容	肯定的回答	否定的回答	項目内容	肯定的回答	否定的回答
10	生徒の良いところを伸ばすことを意識して指導している	97.2%	2.8%	子どもには良いところがある	96.5%	3.5%	自分には自分の好きなどところがある	68.2%	31.8%
11	生徒の得意なところを把握している	94.4%	5.6%	子どもは自分の得意なこと気づいている	76.5%	23.5%	自分の得意なことをよく知っている	79.1%	20.9%
12	子どもの自己有用感が高まってきている	88.9%	11.1%	子どもの自己有用感(自分はだれかの役に立っているという感覚)が高まってきている	83.5%	16.5%	自分はだれかの役に立っていると思う	59.2%	40.8%
13	生徒の「役に立ちたい」という思いを促すような活動を意欲している	91.7%	8.3%	子どもには「誰かの役に立っている」と実感できる学習が準備されている	81.0%	19.0%			
14	生徒の自己肯定感を高めることを意識して指導に当たっている	97.2%	2.8%	子どもの自己肯定感(自分はかけがえのない大切な存在なのだという感覚)が高まってきている	79.8%	20.2%	自分のことをわかってくれる人がある	82.2%	17.8%
15	生徒の人権を尊重した言葉かけや指導・支援を行なっている	94.4%	5.6%	教職員は子供の生活年齢や発達段階に応じた適切な言葉かけや指導をしている	87.1%	12.9%	先生は、わかりやすく、ていねいな言葉づかいをしてくれる	90.0%	10.0%
16	生徒との事前・事後学習等や保護者との懇談会等での相談などに適切に対応している	91.7%	8.3%	ケース懇談会など、学校は保護者に適切に対応している	95.3%	4.7%	事前・事後学習等で先生は仕事の内容や課題・評価等を教えてくれる	93.1%	6.9%
17	生徒は友達や仲間を大切にし、お互い認め合いながら、協力し合っている	88.9%	11.1%	子どもは友達や仲間を大切にし、お互い認め合いながら、協力している	90.6%	9.4%	友達や仲間を大切にし、お互い認め合いながら、協力している	90.8%	9.2%
18	生徒に自分から積極的に挨拶するよう指導や支援をしている	94.4%	5.6%	子どもは自分から積極的に挨拶している	81.7%	18.3%	自分から元気よく挨拶ができる	75.0%	25.0%
19	生徒に学校のきまりや約束を守って学校生活を送るよう指導や支援をしている	91.7%	8.3%	子どもは学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	89.0%	11.0%	学校のきまりや約束を守っている	89.8%	10.2%
20	生徒に家庭内で決まった役割を担うように促している	88.9%	11.1%	子どもには家庭で決まった役割があり、実行している	81.7%	18.3%	家庭で決まった役割(例えば、お手伝い)があり、実行している	79.2%	20.8%
21	全教職員が学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている	91.7%	8.3%						
22	学校のいじめ不登校対策委員会のメンバーを生徒に紹介している	57.1%	42.9%						
23	生徒・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している	88.9%	11.1%						
24	保護者や学校運営協議会等に、学校のいじめの防止等基本方針や学校の取組を説明・周知している	83.3%	16.7%						

この質問項目では、まず、保護者の「子どもは自分の得意なことに気づいている」「子どもの自己有用感が高まってきている」、生徒の「自分には自分の好きなどところがある」「自分の得意なことをよく知っている」「自分はだれかの役に立っていると思う」の質問項目に対する否定的回答が比較的高くなっていることについてみていきます。「確かな学力」の項目でも述べましたが、達成感や満足感を得ることは、自分自身の素敵なところに気づききっかけとなります。また、生徒の「自分から元気よく挨拶ができる」の質問項目でも否定的回答が少し高く出ています。挨拶をすることは、他者を認めるとともに自分の体調のバロメーターにもなります。地域の方々にも元気よく挨拶し「白河の生徒は元気がいい」と言ってもらえるようにしていきたいです。校内では「笑顔さん SUN」運動を啓発しています。「～さん」と互いを尊重した名前の呼び方をして、みんなで明るく笑顔の学校を目指しています。

## 【健やかな体】

この項目では、健康に関することについて質問しています。

	教職員			保護者			生徒		
	項目内容	肯定的回答	否定的回答	項目内容	肯定的回答	否定的回答	項目内容	肯定的回答	否定的回答
25	生徒に適切な食生活を送るよう指導している	94.4%	5.6%	子どもは朝ごはんをきちんと食べている	88.2%	11.8%	朝ご飯をきちんと食べている	83.8%	16.2%
26	生徒に衛生に関する指導や支援を行なっている	97.2%	2.8%	保護者として子どもには日常的に清潔にするよう言葉かけをしている	98.8%	1.2%	清潔にすることを心掛けている(例えば、毎日の入浴や着がえ、汗をこまめにふくなど)	94.6%	5.4%
27	休日等を実施されている各種スポーツ、文化的催しに参加するように生徒に促している	88.6%	11.4%	子どもは休日にリフレッシュできる活動をしている	85.7%	14.3%	休日は趣味やスポーツ、サークル活動などに取り組んでいる	63.2%	36.8%

生徒の「休日は趣味やスポーツ、サークル活動などに取り組んでいる」の質問項目では、否定的回答が高くなっています。少し前までのように、外出を自粛せざるを得ないようなコロナ禍ではなくなった

とはいえ、まだまだコロナ禍以前まで活動や催しが戻ってきたとは言えません。また、ここ数年、自粛の生活を送ってきたことによって、外部の催し等に参加するという習慣がなくなってきたことも推測されます。

学校では、美術の授業や部活動で美術館鑑賞をしたり、企業による出前授業によるハンドボールの体験を障害者スポーツセンターで計画したりと、自ら興味のある催し等に参加できるきっかけになるように取り組んでいます。

### 【独自の項目】

この項目では、企業との連携・地域との協働や情報機器の使い方(SNS等)についてなど、本校独自の質問をしています。

	教職員		保護者		生徒				
	項目内容	肯定的回答	否定的回答	項目内容	肯定的回答	否定的回答			
28	企業との連携・協働による学習環境が設定できている	100.0%	0.0%	企業との連携・協働による学習環境が設定できている	88.2%	11.8%	企業の協力があり、職場実習などができていることに感謝している	91.9%	8.1%
29	地域との連携・協働による学習環境が設定できている	94.4%	5.6%	地域との連携・協働による学習環境が設定できている	87.8%	12.2%	地域の協力があり、地域との活動ができていることに感謝している	91.0%	9.0%
30	生徒、保護者、地域、企業等に本校の教育の趣旨や目的を理解できるように伝えている	91.7%	8.3%	保護者として、学校の教育の趣旨や目的を理解している	90.1%	9.9%		0.0%	0.0%
31	保護者に参観・懇談・学習会等に積極的に参加するように促している	86.1%	13.9%	保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	58.5%	41.5%		0.0%	0.0%
32	情報モラルについての指導を積極的に行なっている	86.1%	13.9%	情報機器(スマートフォンやタブレット)の使い方のルールを決め、守るように促している	74.4%	25.6%	情報機器(スマートフォンやタブレット)の使い方のルールを決めている	49.3%	23.1%
33		0.0%	0.0%	子どもはルールやマナーを守って情報機器やSNSを使用している	91.5%	8.5%	きまりやルール、マナーを守って情報機器(スマートフォンやタブレット)やSNSを使用している	87.3%	12.7%

企業との連携・地域との協働については、生徒・保護者・教職員とも、肯定的な回答が出ています。企業とは中小企業家同友会との交流等、地域とは児童館等とのつながり等、今後も本校教育課程に沿ったそれぞれのステージで学習を積み重ねることができるよう、企業・地域との連携・協働を進めていきます。

一方、情報機器の使い方では、「ルールを決めている」の質問項目に対して、否定的回答が多くありました。各ご家庭でのルールがあり一定の線を引くことは難しいとは思いますが、自分の身を守るためにも、自分が使う上でのルールと社会的なモラルを理解していくことが大切だと考えます。学校では、日々の授業やケータイマナー教室で情報機器によるトラブルなどを回避するための学習を続けていきます。

### 【学校運営協議会より】

学校運営協議会では、「社会に出てからも、相手の思いを汲み取りながら、自分の思いや考えていることを伝えること、また、相手に分かるように伝えることは大切なので継続して取り組むとよい」「振り返りと気づきを大切にすることで、生徒に寄り添った目標設定ができ、生徒それぞれの自己肯定感を育むことができるのではないか」「食品加工の生徒の所作を見ても、衛生面に気を配りながら活動していることがわかる」といった講評をいただきました。

# 令和4年度 京都市立白河総合支援学校 学校評価アンケート(前期) 集計結果一覧

令和4年12月22日

企業との連携・地域との協働		斜字体 令和3年度後期より10パーセント以上あがっている項目				
自己肯定感・自己有用感に関すること		肯定的回答(そう思う、あまりそう思わない)の回答が90パーセント以上の項目				
いじめ防止に向けての項目		否定的回答(あまりそう思わない、そう思わない)の回答が20パーセント以上の項目				
教職員	項目内容	適合度				
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
確かな学力	1 生徒や保護者に短期目標と評価、実習の目標と評価を伝えている	52.8%	41.7%	2.8%	2.8%	
	2 生徒は自己目標に向かって学習に取り組んでいる	19.4%	72.2%	5.6%	2.8%	
	3 生徒は満足感や達成感を持ち、専門科(地域協働)の学習に取り組んでいる	25.0%	63.9%	11.1%	0.0%	
	4 生徒は満足感や達成感を持ち、教科の学習に取り組んでいる	16.7%	69.4%	11.1%	2.8%	
	5 生徒は満足感や達成感を持ち、職場等実習に取り組んでいる	36.1%	61.1%	2.8%	0.0%	
	6 生徒に働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきている	28.6%	62.9%	8.6%	0.0%	
	7 生徒が一生懸命に取り組める活動を用意している	33.3%	63.9%	0.0%	2.8%	
	8 個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導や支援を行なっている	27.8%	63.9%	5.6%	2.8%	
	9 生徒の学習の結果や努力・達成度を評価し、授業改善・指導法の改善に活かしている	36.1%	61.1%	0.0%	2.8%	
	10 生徒の良いところを伸ばすことを意識して指導している	58.3%	38.9%	0.0%	2.8%	
	11 生徒の得意なところを把握している	44.4%	50.0%	2.8%	2.8%	
	12 子どもの自己有用感が高まってきている	19.4%	69.4%	8.3%	2.8%	
	13 生徒の「役に立ちたい」という思いを促すような活動を用意している	25.0%	66.7%	5.6%	2.8%	
	14 生徒の自己肯定感を高めることを意識して指導に当たっている	44.4%	52.8%	0.0%	2.8%	
	15 生徒の人権を尊重した言葉かけや指導・支援を行なっている	55.6%	38.9%	2.8%	2.8%	
	16 生徒との事前・事後学習等や保護者との懇談会等での相談などに適切に対応している	44.4%	47.2%	5.6%	2.8%	
	17 生徒は友達や仲間を大切に、お互い認め合いながら、協力し合っている	22.2%	66.7%	8.3%	2.8%	
	18 生徒に自分から積極的に挨拶するよう指導や支援をしている	52.8%	41.7%	2.8%	2.8%	
	19 生徒に学校のきまりや約束を守って学校生活を送るよう指導や支援をしている	47.2%	44.4%	8.3%	0.0%	
	20 生徒に家庭内で決まった役割を担うように促している	27.8%	61.1%	5.6%	5.6%	
	21 全教職員が学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている	41.7%	50.0%	5.6%	2.8%	
	22 学校のいじめ不登校対策委員会のメンバーを生徒に紹介している	11.4%	45.7%	22.9%	20.0%	
	23 生徒・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している	27.8%	61.1%	2.8%	8.3%	
	24 保護者や学校運営協議会等に、学校のいじめの防止等基本方針や学校の取組を説明・周知している	22.2%	61.1%	8.3%	8.3%	
	25 生徒に適切な食生活を送れるように指導している	41.7%	52.8%	2.8%	2.8%	
	26 生徒に衛生に関する指導や支援を行なっている	44.4%	52.8%	0.0%	2.8%	
	27 休日等実施されている各種スポーツ、文化的催しに参加するように生徒に促している	25.7%	62.9%	8.6%	2.9%	
28 企業との連携・協働による学習環境が設定できている	52.8%	47.2%	0.0%	0.0%		
29 地域との連携・協働による学習環境が設定できている	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%		
30 生徒、保護者、地域、企業等に本校の教育の趣旨や目的を理解できるように伝えている	30.6%	61.1%	5.6%	2.8%		
31 保護者に参観・懇談・学習会等に積極的に参加するように促している	27.8%	58.3%	13.9%	0.0%		
32 情報モラルについての指導を積極的に行なっている	25.0%	61.1%	11.1%	2.8%		
34 報告・連絡・相談を意識して行い、情報の共有に努めている	54.3%	34.3%	11.4%	0.0%		
35 業務や会議の精選を図ることにより、勤務時間の縮減を図っている	37.1%	37.1%	17.1%	8.6%		
36 職務の効率的な遂行を心掛けている	51.4%	42.9%	0.0%	5.7%		
保護者	項目内容	適合度				
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
豊かな心	1 短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	45.9%	44.7%	9.4%	0.0%	
	2 子どもは目標に向かって学習に取り組んでいる	32.9%	57.6%	4.7%	4.7%	
	3 子どもは専門科(地域協働)の授業に満足感や達成感を感じている	38.8%	49.4%	9.4%	2.4%	
	4 子どもは教科の授業に満足感や達成感を感じている	27.1%	57.8%	18.8%	2.4%	
	5 子どもは職場等の実習に満足感や達成感を感じている	35.3%	52.9%	10.6%	1.2%	
	6 子どもに働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきた	29.4%	58.8%	11.8%	0.0%	
	7 子どもには一生懸命になれる活動がある	31.8%	55.3%	8.2%	4.7%	
	8 子どもの目標や学習計画に基づく計画的な指導や支援がされている	39.3%	50.0%	8.3%	2.4%	
	9 子どもの努力や達成度が評価されている	44.0%	48.8%	7.1%	0.0%	
	10 子どもには良いところがある	77.6%	18.8%	3.5%	0.0%	
	11 子どもは自分の得意なこと気づいている	28.2%	48.2%	22.4%	1.2%	
	12 子どもの自己有用感(自分だれかの役に立っているという感覚)が高まってきている	15.3%	68.2%	15.3%	1.2%	
	13 子どもには「誰かの役に立っている」と実感できる学習が準備されている	14.3%	66.7%	17.9%	1.2%	
	14 子どもの自己肯定感(自分はかけがえない大切な存在なのだという感覚)が高まってきている	17.9%	61.9%	20.2%	0.0%	
	15 教職員は子供の生活年齢や発達段階に応じた適切な言葉かけや指導をしている	32.9%	54.1%	8.2%	4.7%	
	16 ケース懇談会など、学校は保護者に適切に対応している	35.3%	60.0%	2.4%	2.4%	
	17 子どもは友達や仲間を大切に、お互い認め合いながら、協力している	35.3%	55.3%	7.1%	2.4%	
	18 子どもは自分から積極的に挨拶している	37.8%	43.9%	15.9%	2.4%	
	19 子どもは学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	40.2%	48.8%	7.3%	3.7%	
	20 子どもには家庭で決まった役割があり、実行している	34.1%	47.6%	15.9%	2.4%	
	25 子どもは朝ごはんをきちんと食べている	64.7%	23.5%	9.4%	2.4%	
	26 保護者として子どもには日常的に清潔にするよう言葉かけをしている	60.0%	38.8%	1.2%	0.0%	
	27 子どもは休日にリフレッシュできる活動をしている	42.9%	42.9%	10.7%	3.6%	
	28 企業との連携・協働による学習環境が設定できている	32.9%	55.3%	10.6%	1.2%	
	29 地域との連携・協働による学習環境が設定できている	34.1%	53.7%	12.2%	0.0%	
	30 保護者として、学校の教育の趣旨や目的を理解している	27.2%	63.0%	8.6%	1.2%	
	31 保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	11.0%	47.6%	35.4%	6.1%	
	32 情報機器(スマートフォンやタブレット)の使い方のルールを決め、守るように促している	20.7%	53.7%	20.7%	4.9%	
	33 子どもはルールやマナーを守って情報機器やSNSを使用している	25.6%	65.9%	7.3%	1.2%	
	生徒	項目内容	適合度			
			そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	豊かな心	1 今、現在の自分の目標がわかっている	30.4%	53.3%	10.4%	5.9%
		2 目標に向かって学習に取り組んでいる	31.5%	47.7%	10.0%	10.8%
3 専門科(地域協働)の授業で「できた」「うれしかった」ことがある		46.2%	36.2%	11.5%	6.2%	
4 教科の授業で「できた」「うれしかった」ことがある		41.1%	38.0%	14.0%	7.0%	
5 職場実習で「できた」「うれしかった」ことがある		43.4%	31.8%	20.9%	3.9%	
6 一所懸命働こうという気持ちや職場で必要な態度が身についている		38.8%	46.3%	11.9%	3.0%	
7 自分には一生懸命に取り組んでいる活動がある		50.4%	31.9%	14.8%	3.0%	
8 先生は「何のために勉強するか」をわかりやすく教えてくれる		46.7%	37.0%	11.9%	4.4%	
9 先生は、学習の成果(できるようになったこと等)を伝えてくれる		45.0%	42.0%	11.5%	1.5%	
10 自分には自分の好きなどがある		34.1%	34.1%	17.1%	14.7%	
11 自分の得意なことをよく知っている		57.9%	27.1%	15.5%	5.4%	
12 自分はだれかの役に立っていると思う		21.5%	37.7%	22.3%	18.5%	
14 自分をよく知っている		43.4%	38.8%	10.1%	7.8%	
15 先生は、わかりやすく、いい言葉づかいをしてくれる		60.0%	30.0%	7.7%	2.3%	
16 事前・事後学習等で先生は仕事の内容や課題・評価等を教えてくれる		60.8%	32.3%	5.4%	1.5%	
17 友達や仲間を大切に、お互い認め合いながら、協力している		53.8%	36.9%	5.4%	3.8%	
18 自分から元気づけたり挨拶ができる		40.6%	34.4%	10.2%	14.8%	
19 学校のきまりや約束を守っている		47.7%	42.2%	5.5%	4.7%	
20 家庭で決まった役割(例えば、お手伝い)があり、実行している		45.4%	33.8%	15.4%	5.4%	
25 朝ご飯をきちんと食べている		66.9%	16.9%	10.8%	5.4%	
26 清潔にすることを心掛けている(例えば、毎日の入浴や着がえ、汗をこまめにふくなど)		70.0%	24.6%	3.1%	2.3%	
27 休日は趣味やスポーツ、サークル活動などに取り組んでいる		41.4%	21.8%	14.3%	22.6%	
28 企業の協力があり、職場実習などができていることに感謝している		59.3%	32.6%	5.2%	3.0%	
29 地域の協力があり、地域との活動ができていることに感謝している		53.4%	37.6%	4.5%	4.5%	
32 情報機器(スマートフォンやタブレット)の使い方のルールを決めている		49.3%	27.6%	15.7%	7.5%	
33 きまりやルール、マナーを守って情報機器(スマートフォンやタブレット)やSNSを使用している		51.5%	35.8%	6.7%	6.0%	

※ 数値については、端数の四捨五入や未回答(記入漏れ)の回答があることにより、合計が100%にならない項目があります